

中学公民プリント（過去問類似）

選挙と政党

名前

得点

/8

問1 日本国憲法が定める選挙の原則のうち、かつての納税額による制限を廃止し、財産や性別、教育課程の修了などを条件とせず、一定の年齢に達したすべての国民に選挙権を認める仕組みを何と呼びますか。 (2021年 長野県公立入試 類似)

1. 普通選挙 2. 平等選挙 3. 直接選挙 4. 秘密選挙

問2 「現代社会において、住民全員が一つの場所に集まって議論し、物事を決定することは時間的にも物理的にも非常に困難である」という背景から採用されている、政治の仕組みについて説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)

1. 国民が直接投票を行うことで、国の法律や予算を直接決定する仕組み 2. 選挙によって選ばれた代表者が、議会で国民の意見を代弁し、政治の方針を決定する仕組み 3. 行政・立法・司法の三つの権力を一つにまとめ、効率的に政治を行う仕組み 4. 特定の身分を持つ者だけが、国民の代表として話し合いを行う仕組み

問3 日本の選挙制度において、日本国民が衆議院議員の候補者として立候補するために必要な「被選挙権」を得られる年齢について、正しいものはどれですか。 (2026年 奈良公立入試 類似)

1. 満18歳以上 2. 満20歳以上 3. 満25歳以上 4. 満30歳以上

問4 比例代表制の選挙において、定数6の選挙区で、A党が96万票、B党が66万票、C党が54万票、D党が36万票を獲得しました。ドント式を用いて計算した場合、各政党の議席配分はどのようになりますか。 (2018年 和歌山公立入試 類似)

1. A党：2議席、B党：2議席、C党：1議席、D党：1議席 2. A党：3議席、B党：1議席、C党：1議席、D党：1議席 3. A党：3議席、B党：2議席、C党：1議席、D党：0議席 4. A党：2議席、B党：2議席、C党：2議席、D党：0議席

問5 日本の選挙制度に関する統計において、20歳から39歳の投票率が44.7%であるのに対し、60歳から79歳では74.5%と非常に高くなっている現状があります。このような世代間での投票率の差が政治に与える影響として、最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 群馬県公立入試 類似)

1. 政治家が投票率の高い高齢層に向けた政策を重視しやすくなり、若い世代の意見が政治に反映されにくくなる。 2. 若い世代の投票率が低いため、選挙管理委員会が若者の票を2倍として計算する調整が行われる。 3. 高齢層の投票率が高すぎること、若者の意見が自動的に優先される仕組みが国会で採用される。 4. 世代間の投票率の差は、各政党が若者向けの公約を増やす直接的な原因となり、若者の政治参加を促す。

問6 日本の政治体制において、国会の指名に基づいて内閣を組織し、実際に政権を担う政党を何と呼びますか。また、単独の政党ではなく、複数の政党が協力して内閣を組織する場合の名称とあわせて、正しい組み合わせを選びなさい。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)

1. 政権を担う政党：与党、複数の政党による組織：連立政権 2. 政権を担う政党：野党、複数の政党による組織：連立政権 3. 政権を担う政党：与党、複数の政党による組織：多党制 4. 政権を担う政党：野党、複数の政党による組織：二大政党制

問7 議院内閣制のもとで「連立政権」が成立する背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)

1. 内閣総理大臣の指名選挙において、単独の政党だけでは過半数の議席に届かない場合に、複数の政党が協力して過半数を確保しようとするため。 2. 日本国憲法によって、政権を担当するには必ず複数の政党で内閣を構成しなければならないと定められているため。 3. 行政権の肥大化を防ぐ目的で、野党の代表者を必ず一人以上、閣僚（大臣）として入閣させることが義務付けられているため。 4. すべての政党が一致して内閣を支えることで、国会における法律案の審議や採決を省略し、迅速な政治判断を行うため。

問8 日本の衆議院議員選挙などの比例代表制で採用されているドント式において、各政党の獲得議席を決定するための計算手順として正しいものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)

1. 各政党の総得票数を、1、2、3、4…という整数で順に割り、その商（割り算の答え）が大きい順に議席を割り当てる。 2. 各政党の総得票数を、1、3、5、7…という奇数で順に割り、その商（割り算の答え）が大きい順に議席を割り当てる。 3. 各政党の総得票数を、まず各政党の合計得票数で割り、その割合に定数を掛けて小数点以下を切り捨てる。 4. 各政党の総得票数を、有権者数で割り、その比率が一定基準を超えた政党にのみ均等に議席を割り当てる。

答え合わせ・解説

| | | |
|----|--|--|
| 問1 | 答え 1 普通選挙 | 民主主義の発展とともに確立された原則であり、特定の資格を持つ人だけでなく、すべての有権者に広く門戸を開くことを目的としています。日本では1925年の普通選挙法により25歳以上の男子に認められ、戦後の1945年の法改正によって女性参政権が認められたことで、現在の形式となりました。一人一票の価値を等しく扱う「平等選挙」としばしば混同されますが、こちらは「誰にでも権利を与える」という範囲の広さを指す言葉です。 |
| 問2 | 答え 2 選挙によって選ばれた代表者が、議会で国民の意見を代弁し、政治の方針を決定する仕組み | すべての国民が直接参加する「直接民主制」に対し、代表者を選ぶことで効率性と専門性を確保するのが間接民主制（代表民主制）の目的です。日本の国政もこの仕組みに基づいて行われており、国民は選挙を通じて自らの意思を政治に反映させます。 |
| 問3 | 答え 3 満25歳以上 | 衆議院議員の被選挙権は、日本国民であれば満25歳以上に達した者に与えられます。選挙権（投票する権利）が満18歳以上であるのに対し、被選挙権はそれよりも高い年齢設定となっているのが特徴です。また、参議院議員や都道府県知事の被選挙権（満30歳以上）とも異なるため、区別して覚える必要があります。 |
| 問4 | 答え 1 A党：2議席、B党：2議席、C党：1議席、D党：1議席 | 各党の得票数を順に割ると、1で割った値は「A:96万、B:66万、C:54万、D:36万」、2で割った値は「A:48万、B:33万、C:27万、D:18万」、3で割った値は「A:32万…」となります。これらの値を大きい順に並べると、(1)A党96万、(2)B党66万、(3)C党54万、(4)A党48万、(5)D党36万、(6)B党33万となり、定数6までの議席はA党に2、B党に2、C党に1、D党に1と割り振られます。 |
| 問5 | 答え 1 政治家が投票率の高い高齢層に向けた政策を重視しやすくなり、若い世代の意見が政治に反映されにくくなる。 | 選挙において候補者や政党は、当選するために多くの票を得る必要があります。そのため、投票率が高い世代の要望を優先して政策に掲げる傾向が生じます。若年層の投票率が低い状態が続くと、社会保障や教育など若年層に関わる課題よりも、高齢層向けの政策が優先され、結果として「若い世代の意見」が政治の場で「反映されにくい」という課題が生じます。 |
| 問6 | 答え 1 政権を担う政党：与党、複数の政党による組織：連立政権 | 議院内閣制を採用している日本において、国会で多数の議席を持ち、内閣を組織して政策を実行する立場にある政党を「与党」と呼びます。一方、政権に参加せず、政府の政策を批判・監視する側の政党は「野党」です。一つの政党だけで議会の過半数を占めることが難しい場合や、より安定した政権運営を目指す場合に、複数の政党が協力して組織する政権は「連立政権」と呼ばれます。 |
| 問7 | 答え 1 内閣総理大臣の指名選挙において、単独の政党だけでは過半数の議席に届かない場合に、複数の政党が協力して過半数を確保しようとするため。 | 内閣総理大臣は国会議員の中から国会の指名によって選ばれます。指名を得るには議決で過半数の賛成が必要となるため、総選挙の結果、どの政党も単独で過半数の議席を得られなかった場合などは、複数の政党が政策の合意（政策協定）を結んだ上で協力し、合計で過半数となる勢力を形成して政権を組織します。これが連立政権が誕生する主な理由です。 |
| 問8 | 答え 1 各政党の総得票数を、1、2、3、4…という整数で順に割り、その商（割り算の答え）が大きい順に議席を割り当てる。 | ドント式は、比例代表制において議席を各政党の得票数に応じて配分するための計算方法です。各政党の得票数を1、2、3…と整数で順次割っていき、得られた数値（商）をすべての政党で比較して、数値の大きい順に定数に達するまで議席を割り振ります。これにより、得票数に比例した議席配分が可能になります。 |